

4. 人も地域も頑張る力 ①市民活動・社会教育の推進

評価者	地域振興担当理事 蒲原 智之	
令和6年度 実行宣言		
・今年度、モデル地区が3地区となったことから地区市民センターや地区公民館などの公共施設については、地域づくりの拠点施設としての役割を持つコミュニティセンター化について更に検証し、住民自治協議会が持続的に運営し地域に応じた利活用ができるよう進めていきます。あわせて、直営によるコミュニティセンターの運営方法などを関係各課と協議し令和8年度の移行に向けて進めていきます。		
令和6年度 評価	☆評価	☆☆☆
・令和8年度からのコミュニティセンター化の基本的な考え方や方向性について、令和6年9月の住民自治協議会会長会において説明をしました。その後、各住民自治協議会において個別の説明会も実施し、その中で、5つの協議会から令和8年度からの指定管理の申し出を受けました。 ・モデル地区の検証においては、コミュニティセンターモデル地区実施検証検討会を有識者を含む5名で構成し、3回開催しました。「適切な管理運営の確認」、「市民サービスの向上につなげる利用者の拡大を目指すこと」、「制度運用上のメリットと課題の抽出」について検証を行い、2月26日に各住民自治協議会を対象とした報告会を開催しました。 ・令和6年度には、松尾住民自治協議会と米ノ庄住民自治協議会がコミュニティセンターの指定管理を開始しました。		
令和7年度 実行宣言		
・令和8年度から、地区市民センターと地区公民館を地域の拠点となるコミュニティセンターとして位置付け、その役割を一層充実させていくことをめざします。そのため、関係部署と緊密に協議を行い、効率的かつ効果的な組織体制の構築を進めます。 ・住民自治協議会が管理運営するセンターを令和9年度に10地区以上をめざします。さらに、市民に対し、コミュニティセンター化に関する情報を広く発信していきます。		

評価者	教育長 中田 雅喜・教育委員会事務局長 若山 幸則	
令和6年度 実行宣言		
・地区公民館のコミュニティセンター化を見据え、松阪公民館を核とした体制を作り、生涯学習活動のさらなる推進に取り組みます。 ・青少年育成事業について、近年の非行情勢を踏まえ、青少年に寄り添った新たな体制づくりに取り組みます。		
↓		
令和6年度 評価	☆評価	☆☆☆
・松阪市公民館のあり方等について、社会教育委員へ諮問し答申が出されました。これを受け、松阪市公民館運営基本方針(仮称)の策定に向け、県内市町や先進地事例の情報収集、全公民館へアンケート調査を実施しました。 ・青少年育成事業については、青少年センターを見直し、センター職員を不登校児の対応等、現在の社会情勢に沿った体制に改めました。		
↓		
令和7年度 実行宣言		
・松阪市公民館運営基本方針(仮称)の策定をし、主要5公民館の連携と各地域で行われる生涯学習の支援体制を整えます。 ・各地区の青少年健全育成会の組織体制について、現状を再確認し、必要に応じ見直しを行います。		

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項 目	指定管理者制度導入コミュニティセンター数				目標種別	↑
	評価者	地域振興担当理事 蒲原 智之					
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目 標	—	3.0 地区	3.0 地区	8.0 地区	10.0 地区	
	実 績	1.0 地区	3.0 地区	— 地区	— 地区	— 地区	
	評 価	—	S	—	—	—	
	今後の方針	住民自治協議会が持続的に運営し地域に応じた利活用ができるよう進めていきます。					
数値目標 ②	項 目	地域づくり活動への参加率				目標種別	↑
	評価者	地域振興担当理事 蒲原 智之					
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目 標	—	51.0 %	55.0 %	57.5 %	60.0 %	
	実 績	50.4 %	51.2 %	— %	— %	— %	
	評 価	—	S	—	—	—	
	今後の方針	地域づくりにおける住民自治協議会と市の協働を推進し、活動の支援と充実を図ります。					
数値目標 ③	項 目	市民活動センター活動団体の新規登録者数				目標種別	→
	評価者	地域振興担当理事 蒲原 智之					
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目 標	—	20団体／年	20団体／年	20団体／年	20団体／年	
	実 績	20団体／年	25団体／年	—	—	—	
	評 価	—	S	—	—	—	
	今後の方針	市民活動団体の活動の支援と活性化を図ります。					
数値目標 ④	項 目	講座開設数				目標種別	↑
	評価者	教育長 中田 雅喜・教育委員会事務局長 若山 幸則					
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目 標	—	950 講座	970 講座	990 講座	1,000 講座	
	実 績	941 講座	957 講座	— 講座	— 講座	— 講座	
	評 価	—	S	—	—	—	
	今後の方針	講座開設については、ICT機器を活用し主催以外の公民館でも受講できる体制を作ります。					
数値目標 ⑤	項 目	公民館講座満足度				目標種別	↑
	評価者	教育長 中田 雅喜・教育委員会事務局長 若山 幸則					
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目 標	—	87 %	88 %	89 %	90 %	
	実 績	86 %	83 %	— %	— %	— %	
	評 価	—	E	—	—	—	
	今後の方針	住民ニーズに沿った講座開設に努めていきます。					
数値目標 ⑥	項 目	図書館の電子図書の貸し出し人数				目標種別	↑
	評価者	教育長 中田 雅喜・教育委員会事務局長 若山 幸則					
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目 標	—	1,200 人	1,500 人	1,800 人	2,000 人	
	実 績	1,143 人	1,223 人	— 人	— 人	— 人	
	評 価	—	S	—	—	—	
	今後の方針	電子図書の蔵書数を常時15,000タイトル以上保持していきます。					
関係所属							
地域づくり連携課、嬉野地域振興局、三雲地域振興局、飯南地域振興局、飯高地域振興局、生涯学習課							

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

4. 人も地域も頑張る力 ②中山間地域の振興

評価者	地域振興担当理事 蒲原 智之		
令和6年度 実行宣言			
・中山間地域の地域資源を活用した取組を推進し、移住人口や関係人口の創出を図ります。その中でも、昨年度設立した「松阪市香肌地域づくり協同組合」と協働し、空家バンク制度を活用することで移住希望者を含む地域住民の雇用機会の創出及び安定を図ります。 また、住民自治協議会、地域おこし協力隊と協働し空家の登録を推進するとともに、サテライトオフィスや田舎暮らしに関する情報を積極的に発信し、移住人口や関係人口の創出を図ります。また、トレイルランニング大会の開催など、地域資源を生かしたイベントの実現に向けて地域とともに取組を進めます。			
↓			
令和6年度 評価	☆評価 ☆☆☆☆		
・松阪市香肌地域づくり協同組合との協働を通じ、雇用機会の創出や空家バンク制度を活用した移住希望者の安定と情報発信を図りました。協同組合は、人材派遣職員を2名雇用し、地元事務所へ派遣しました。また、移住促進業務の空家バンク事業等で移住希望者への適切なアドバイスや対応を行うとともに、ホームページの整備などを通じて積極的な情報発信を行いました。また、地域おこし協力隊においても田舎暮らしに関する情報を積極的に発信し、移住人口や関係人口を増やすための取組を行いました。 ・地域資源を生かしたイベントについては、トレイルランニング大会を開催し、前年より参加者数を増加させ、地域の魅力発信を行いました。			
↓			
令和7年度 実行宣言			
・松阪市香肌地域づくり協同組合との強力なパートナーシップを維持し、人材派遣を拡大することで、地元企業と連携した新たな雇用の創出に努めます。また、空家バンク制度の利用を推進し、移住者への適切なアドバイスやサポートを提供し、安心して移住できる環境を整えます。さらに、地域おこし協力隊において、中山間地域の魅力に関する情報を積極的に発信し、移住人口や関係人口を増やす取組を行います。また、トレイルランニング大会やその他の地域資源を活かしたイベントの企画・実施を通じて、地域の魅力を発信します。 ・過疎地域移住定住土地活用事業において、飯高町宮前の土地を造成し、移住者・定住者向けの住宅用地等として有効活用していきます。			

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項 目	空家バンク成約世帯数(累計)				目標種別	↑
	評価者	地域振興担当理事 蒲原 智之					
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目 標	—	156 件	176 件	196 件	216 件	
	実 績	136 件	164 件	— 件	— 件	— 件	
	評 価	—	S	—	—	—	
	今後の方針	松阪市香肌地域づくり協同組合と連携し、空家バンク制度を活用して移住者の増加をめざします。					
数値目標 ②	項 目	香肌地域づくり事業協同組合 派遣労働者数				目標種別	↑
	評価者	地域振興担当理事 蒲原 智之					
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目 標	—	2 人	3 人	5 人	5 人	
	実 績	0 人	2 人	— 人	— 人	— 人	
	評 価	—	S	—	—	—	
	今後の方針	組合員への人材派遣を通じて、担い手不足に悩む事業所の支援と、移住希望者の定職・定住の促進を図ります。					
数値目標 ③	項 目	観光施設の宿泊者数(飯南・飯高地域)				目標種別	↑
	評価者	地域振興担当理事 蒲原 智之					
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目 標	—	19,704 人	20,136 人	20,568 人	21,000 人	
	実 績	19,272 人	21,410 人	— 人	— 人	— 人	
	評 価	—	S	—	—	—	
	今後の方針	地域資源の活用と情報発信の拡充によって交流人口の増加を図ります。					
関係所属							
地域づくり連携課、嬉野地域振興局、飯南地域振興局、飯高地域振興局							

4. 人も地域も頑張る力 ③ 文化の振興

評価者	産業文化部長 岡田 久		
令和6年度 実行宣言			
・国宝に指定されることになった「三重県宝塚一号墳出土埴輪」の保存活用や開館30年を迎える松浦武四郎記念館の周年事業等を確実かつ効果的に実施するため関係部署による連携を促進します。また、市民文化会館大規模改修事業等により、安全安心に文化芸術に触れることができる環境整備をめざすとともに、文化財センター収蔵庫の全面運用開始により指定文化財等を適切に保存します。			
↓			
令和6年度 評価		☆評価	☆☆☆
・国宝に指定された「三重県宝塚一号墳出土埴輪」の保存活用についてはハード面(アクリル板の設置など)・ソフト面(ナイトミュージアムや豪商のまちキャンペーン、鈴の音バスツアー、民間ウォーキングイベントなど)両面で取組を進め、関係部署との連携のもと成果を挙げることができました。			
・開館30年を迎える松浦武四郎記念館の周年事業等についても確実に実施しました。			
・市民文化会館大規模改修事業等により安全安心な文化芸術環境を実現しました。また、文化財センター収蔵庫の全面運用開始についても確実に準備を進め、指定文化財等の適切な保存環境を整備しました。			
↓			
令和7年度 実行宣言			
・国宝に指定された「三重県宝塚一号墳出土埴輪」の保存活用や市制20周年記念事業等を関係部署と連携しながら、進めていきます。また、令和6年度に改修した市民文化会館の利用を促進し、市民が文化芸術に触れることができる機会を創っていきます。			

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項 目	文化活動の推進に対する市民満足度					目標種別
	評価者	産業文化部長 岡田 久					↑
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目 標	—	17.0 %	18.0 %	19.0 %	20.0 %	
	実 績	16.6 %	30.0 %	— %	— %	— %	
	評 価	—	S	—	—	—	
	今後の方針	市民が郷土の文化財に愛着や誇りが持てるよう、魅力のある企画展や情報発信を積極的に行っていきます。また、教育や観光等他分野との連携を進めていきます。					
数値目標 ②	項 目	松阪市民文化会館・コミュニティ文化センター・嬉野ふるさと会館の一日当たりの利用率(3館合計利用日数/3館合計開館日数)					目標種別
	評価者	産業文化部長 岡田 久					↑
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目 標	—	82.0 %	83.0	84.0 %	85.0 %	
	実 績	75.1 %	76.7 %	— %	— %	— %	
	評 価	—	E	—	—	—	
	今後の方針	令和7年度にリニューアルオープンしたクラギ文化ホールを中心に、魅力ある自主事業を展開するなど、より一層の施設利用を促進し、市の文化振興を図っていきます。					
数値目標 ③	項 目	過去一年間に学校以外で文化財施設に一回以上行ったことのある児童生徒の割合					目標種別
	評価者	産業文化部長 岡田 久					↑
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	
	目 標	—	児童 71 % 生徒 61 %	児童 72 % 生徒 62 %	児童 73 % 生徒 63 %	児童 75 % 生徒 65 %	
	実 績	児童 70 % 生徒 62 %	児童 81 % 生徒 61 %	児童 — % 生徒 — %	児童 — % 生徒 — %	児童 — % 生徒 — %	
	評 価	—	S	—	—	—	
	今後の方針	これからの文化の担い手となる子どもが参加しやすい展示や講座等を開催します。					

関係所属
文化課

4. 人も地域も頑張る力 ④ スポーツと運動したまちづくりの推進

評価者	教育長 中田 雅喜・教育委員会事務局長 若山 幸則		
令和6年度 実行宣言			
・スポーツを「する」楽しみ、「観る」感動、「支える」喜びを感じることができるよう、スポーツと運動したまちづくりに引き続き取り組むとともに、更にスポーツを通じた健康増進に取り組んでいきます。特に、みえ松阪マラソン2024については、定員を12,000人に増やし、第2回大会の課題を踏まえ、特に初心者と女性ランナーにやさしい大会づくりに取り組みます。スポーツ施設については、快適にプレーできる環境の充実に取り組みます。			
			
令和6年度 評価	☆評価		☆☆☆☆
・スポーツと運動したまちづくりについては、「伝えたいスポーツのチカラプロジェクト」を主体とし、松阪市・三重県出身のトップアスリートなどにお話を伺ったり、一緒に競技の体験を渡通じ、スポーツを持つ力を発信する「土性沙羅のスポーツ応援ch」を引き続き発信しました。また、小中学生を対象とした出前授業(のべ9校754人)、地域の方々の健康づくりを目的とした「さらトレ楽ちゃん講座」(11地域延べ331人)を実施しました。 ・みえ松阪マラソンについては、第3回大会を12月15日に開催し10,903人の参加があり、RUNNETでは12月開催のフルマラソン7,000人以上の大規模大会の中で2年連続第1位の評価をいただき、約11億7,950万円の経済波及効果がありました。			
			
令和7年度 実行宣言			
・スポーツを「する」楽しみ、「観る」感動、「支える」喜びを感じることができるように取り組めます。 ・「伝えたい！スポーツのチカラプロジェクト」では市制20周年記念事業の「ダンスドリームプロジェクト」をEXILEのメンバー等のサポートを得て、市内公立中学校の保健体育のダンス授業で取り組みます。 ・みえ松阪マラソン2025については、定員を1.3万人の参加を得るため、初マラソン挑戦推進の取り組み、SDGs、公式イメージソングの発表、インフルエンサー等の情報発信、市制20周年記念事業の一環としてスペシャルサンクスパレード開催に取り組みRUNNETによる12月開催のフルマラソン7,000人以上の大規模大会の中で3年連続第1位をめざします。			

施策の進捗状況						
数値目標 ①	項目	気軽にスポーツを行うことができる環境づくりに対する満足度				目標種別 ↑
	評価者	教育長 中田 雅喜・教育委員会事務局長 若山 幸則				
	年度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標	—	3.02 /5	3.05 /5	3.08 /5	3.10 /5
	実績	3.00 /5	3.36 /5	— /5	— /5	— /5
	評価	—	S	—	—	—
	今後の方針	スポーツ施設長寿命化計画に基づき、スポーツ施設の充実に本格的に取り組めます。				
数値目標 ②	項目	スポーツボランティアへの参加意欲				目標種別 ↑
	評価者	教育長 中田 雅喜・教育委員会事務局長 若山 幸則				
	年度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標	—	33.0 %	33.6 %	34.2 %	35.0 %
	実績	32.4 %	32.4 %	— %	— %	— %
	評価	—	E	—	—	—
	今後の方針	みえ松阪マラソンを核とし、市民の多くの方々にボランティア参加への魅力向上に努めます。				
数値目標 ③	項目	「みえ松阪マラソン」に対するランナーからの総合評価				目標種別 ↑
	評価者	教育長 中田 雅喜・教育委員会事務局長 若山 幸則				
	年度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目標	—	85.0 点	85.0 点	85.0 点	85.0 点
	実績	80.9 点	86.9 点	— 点	— 点	— 点
	評価	—	S	—	—	—
	今後の方針	新たな視点の取組により、より完成度の高い大会をめざします。				

関係所属
スポーツ課、清掃事業課

4. 人も地域も頑張る力 ⑤ 人権尊重・多様性社会の推進

評価者	環境生活部長 武田 誉利子		
令和6年度 実行宣言			
・新たな「松阪市人権施策基本方針」の具体的な施策展開を行うための「松阪市人権施策行動計画」を策定します。また、多様性社会づくりの推進においては、男女共同参画社会実現のため策定をしている「松阪市男女共同参画プラン」改定に向けての市民意識調査を行います。			
			
令和6年度 評価		☆評価	☆☆☆
・「松阪市人権施策基本方針」の具体的施策をすすめるため「松阪市人権施策行動計画」を策定いたしました。 また、男女共同参画に関する市民意識調査については、令和6年9月から10月にかけて実施した松阪市市民意識調査内にて調査を行いました。			
			
令和7年度 実行宣言			
・「松阪市市民意識調査」の調査結果をもとに、男女共同参画社会の実現に向けた施策の指針とする「松阪市男女共同参画プラン」の改定を進めます。 また、人権に関する啓発に取り組み、市民意識の高揚を図ります。			

施策の進捗状況						
数値目標 ①	項 目	人権が尊重されている社会になっていると感じる市民の割合				目標種別
	評価者	環境生活部長 武田 誉利子				↑
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	—	85.0 %	85.0 %	85.0 %	85.0 %
	実 績	33.1 %	— %	— %	— %	— %
	評 価	—	—	—	—	—
	今後の方針	市民一人ひとりの人権が尊重され、あらゆる差別をなくすための行動を促すとともに、すべての人々が希望と誇りをもって社会参加できる地域社会に向けて啓発活動を実施していきます。				
数値目標 ②	項 目	市役所利用者の通訳満足度				目標種別
	評価者	環境生活部長 武田 誉利子				↑
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	—	70.0 %	70.0 %	70.0 %	70.0 %
	実 績	— %	— %	— %	— %	— %
	評 価	—	—	—	—	—
	今後の方針	外国人住民に対し、通訳者を配置し母語による生活情報等の提供や説明、市窓口業務の支援を行い住民サービスの充実に努めます。				
数値目標 ③	項 目	家庭生活において男女の地位が平等になっていると思う市民の割合				目標種別
	評価者	環境生活部長 武田 誉利子				↑
	年 度	令和5年度(基準)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
	目 標	—	50.0 %	50.0 %	50.0 %	50.0 %
	実 績	28.7 %	29.3 %	— %	— %	— %
	評 価	—	E	—	—	—
	今後の方針	家庭生活において、性別による固定的役割分担意識を見直すための意識啓発活動を実施していきます。				

関係所属
人権・多様性社会課